学年	授業時数	教科	科目	教科書名	副教材名
高３ (特別進学)	4	公民科	公民研究 (政治・経済)	『改訂版　政治・経済』 (数研出版)	『政治・経済資料　2021』 (東京法令出版)

１．授業のねらい

（１）公害、消費者問題、雇用と労働をめぐる問題、少子高齢社会と社会保障などについて理解できるようにする。

（２）国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合などの国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握し、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について理解させる。

（３）日本の政治制度（国会、内閣、裁判所など）について理解させる。

（４）貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割、グローバル化が進む国際経済の特質、国際経済における日本の役割について理解させる。

２．授業の進め方

電子黒板やプリントなどを中心に授業を進める。２学期は基礎学力到達度テスト対策も行う。また、ICT を活用した授業を進める。なお、ICT 機器は担当教員の指示があるとき以外は、机の中にしまっておくこと。

３．学習上の留意点

経済分野の続きを学習することになるが、政治分野と異なり特にしくみを理解する必要がある。近年の私立大学の入試では、難問・奇問がかつてと比べ減少している。難関私大を目指す時に、ともすれば難問対策に目が行きがちであるが、むしろ出題の９割を占めるとされる基本・標準問題に注意しなくてはならない。したがってまずは基本・標準問題で取りこぼしをしない実力をしっかりつけることが重要である。また、本学芸術学部などを目指し、基礎学力到達度テストによる進学を考えている人は特に基本・標準が重要になる。基礎学力到達度テストという名称からも分かるように、基本的な問題の出題が多くなっているからである（基礎学力到達度テストは「倫理、政治・経済」で行われるので、基礎学力到達度テストでの進学を考えている場合、倫理の学習については相談に来て欲しい）。したがって、一般入試、基礎学力到達度テストとも、反復学習を通じた基本・標準的事項のマスターが重要となる。なお、用語を覚える際には、用語を覚えようとするよりもむしろ用語の意味やその内容を理解することが大切である。意味も分からずに用語を覚えても、試験での点数にはつながらない。また、一つ一つの用語をばらばらに覚えても意味はない。授業のどの文脈で使われていたかを意識して覚えるようにする。また、用語と用語を関連させて覚えるようにする。こうすることで記憶に残りやすくなり、思い出しやすくもなる。授業進度は高２の時より早く進める予定である。自ら学ぶ姿勢、意欲的に取り組む姿勢、アクティブラーニングの姿勢が何よりも重要となる。

４．教科書・副教材

（１）教科書『改訂版　政治・経済』（数研出版）

（２）副教材『政治・経済資料　2021』（東京法令出版）

※用語集については、資料集巻末掲載の用語説明を利用すればよい。購入したい場合は以下の本がある。『用語集　政治・経済　新訂第８版』（清水書院）、『政治・経済用語集』（山川出版社）。収録用語数は清水書院の方が多い。

５．評価方法

（１）定期試験…定期考査３回（100 点×３回）　計 300 点

（２）平常点…１学期 20 点＋２学期 10 点　計 30 点

（３）ノート（プリント）提出・課題提出などについてはその都度発表する

６．定期考査

授業で扱った事項、試験前に指定した範囲からの出題の他、応用・発展・時事問題を出題することもある。

７．指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7 8	第２編　現代の経済 第１章　現代経済のしくみと役割 第３節　日本経済と福祉の向上 ３．公害防止と環境保全 ４．消費者問題と消費者保護 ５．労使関係と労働問題 ６．少子高齢社会と社会保障 第１編　現代の政治 第２章　現代の国際政治 第１節　国際政治の動向 １．国際社会の特質 ２．国際社会と国際法 ３．国際社会の組織化 ４．戦後国際政治の展開 第２節　国際社会の課題と日本の役割 １．核兵器の廃絶と軍縮問題 ２．地域紛争と人種・民族問題 ３．日本の国際的地位と役割 第１章　民主政治の基本原理 第３節　日本の政治機構 １．国会のしくみと役割 ２．内閣のしくみと役割 ３．裁判所のしくみと人権保障 ４．地方自治のしくみと住民生活 第２編　現代の経済 第２章　国民経済と国際経済 第１節　国際経済の動向 １．貿易と国際収支 ２．国民経済のしくみ 夏季休業	課題など 中間考査 課題など 期末考査	公害・環境問題、消費者問題と消費者保護、労働問題、社会保障について理解する。 国際社会の変遷、国際法の意義、国際機構の役割、国際紛争の諸要因、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解する。 国会の地位・組織・権限について理解する 議院内閣制、内閣の組織・権限・機能を理解する。 司法権の独立、裁判所の組織、裁判官の選任、違憲審査権を理解する。 地方自治のしくみとその問題点を理解する。 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解する。
二学期	9 10 11 12	国際政治、問題演習 第２節　国際経済の課題と国際協力 １．地球環境と資源・エネルギー問題 ２．発展途上国の経済と経済協力 ３．国際経済における日本 問題演習 冬季休業	基礎学力到達度テスト 課題など 期末考査	基礎学力到達度テストに向けた問題演習などを行い、実戦力を養う。 環境・資源・エネルギー問題について理解する。 国際経済の特質、国際経済における日本の役割について理解する。

※理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。